



おいそ

議会だより

第140号

2007年（平成19年）7月27日発行



ここは何処？（答えは裏表紙に）

6月定例会

防災行政無線 デジタル化

2P

町政のここが聞きたい 一般質問

4P

ひと
輝いてます大磯人

12P

発行／大磯町議会 編集／議会だより編集委員会

〒255-8555 神奈川県中郡大磯町東小磯183 TEL 0463-61-4100（内線281） FAX 0463-61-1991

ホームページアドレス <http://www.town.oiso.kanagawa.jp/> メールアドレス gikai@town.oiso.kanagawa.jp

6月議会は、5月28日から6月4日までの8日間の日程で行われた。

町から提出された報告は6件、議案が8件で、事故線越や工事請負契約の締結、修正予算など。最終日の6月4日には、議会運営委員会提案の条例改正案、意見書案、決議案の提出があり、審議の結果、賛成多数で可決した。

一般質問は12名が37問を行い、町長の考えをたずねた。陳情は2件を審査し、採択1件、趣旨採択1件と決した。

防災無線をデジタルに更新

今までのアナログ式をデジタル式に更新することが決まった。同時に難聴地域に「屋外拡声柱」を6本増設し、合計56本となる。更新後も難聴地域があれば増設で対応することも確認した。

発信局は役場3階と消防署に置く。全国瞬時警報システムも装置される。保守点検費用は年間2回の点検で550万円。

工事は三峰無線㈱が落札し、平成20年度までの2年間、費用は約1億9千万円（町負担約5千万円）。なお、三峰無線は愛川町などで防災無線の実績がある。採決の結果、賛成多数で可決した。

大下田橋耐震工事の委託協定を締結

町道幹28号線美化センター（虫窪）入り口手前の東海道新幹線をまたぐ大下田橋の耐震対策工事を、JR東海に委託する契約締結の協定について審議を行った。工事委託費は9千812万3千円。

工事内容は、橋脚の耐震補強工事、排水設備・電気設備等の新設、移設などである。工事期間は、平成19年7月から20年3月末まで。採決の結果、賛成多数で可決した。

大磯中学校体育館耐震改修工事の請負契約の締結

かねてより耐震工事の必要があった磯中体育館にブレース等の工事を行うことになった。総額は約7千550万円（町負担約4千690万円）。採決の結果、賛成多数で可決した。

主な質疑

問 工事委託費は全額町が負担するのか。
答 国からの交付金が55%、残りが町負担である。

問 工事に不備があった場合、誰がその責を負うのか。完成検査は誰がするのか。
答 民法のなかで解決していく。JRに検査を依頼し、町職員が立ち会う予定。

主な質疑

問 この体育館はいつできて、その後どれほどの修繕を行ったか。
答 昭和41年2月に竣工し、平成2年の工事までで約8千万円かかった。

問 既に41年経過した建物で補修工事でのいいのか。さきの能登半島沖地震でも体育館は、住民の避難場所となっている。
答 十分に対応できる。

人権擁護委員に推薦

任期満了のため同意が提案され、全員賛成で可決した。

【再任】

熊澤海樹氏（59歳）

北下町在住

6件の報告

繰越明許費繰越計算書

・高田公園整備事業2千万円
事故繰越計算書

・都市公園台帳作成事業
388万5千円、高田公園整備事業168万円

・旧吉田茂邸保存・活用事業162万7千500円

・大磯駅バリアフリー化事業5千800万円

・清掃総務運営事務事業241万5千円

・公共下水道整備事業5千785万6千420円

国民健康保険税条例の専決処分

地方税法と地方税法施行令の一部改正が平成19年3月30日公布されたことに伴い、条例の一部改正。

内容は、国民健康保険税のうち、基礎課税額分の課税限度額を「53万円」から「56万円」になど。

救急用の資機材約1,200万円を購入

町民の方から救急車本体（2,693cc、全長5.6m、電子サイレンや警光灯等付属）の寄贈があった。寄贈者の意を受けて、高規格救急自動車として整備を整えるための資機材購入である。

（輸液用装置、心電計や心肺蘇生、搬送保護機材など）

常任委員会数を3から2に

18名から14名に議員定数を削減したことに伴い、効率的な議会運営を図るための条例の一部改正。

7月16日からは、「総務建設常任委員会」と「福祉文教常任委員会」になる。各委員会定数は7名で、所管事項については、町の12月機構改革を見て対応することになった。

19年度補正予算

一般会計に新規事業の電子計算機更新事業1,371万4千円を追加し、予算総額を85億4,871万4千円とした。採決の結果、賛成多数で可決した。

賛否結果

議案番号	議案	議員名（議席順）													結果			
		百瀬恵美子	奥津勝子	土橋秀雄	山田喜一	清水弘子	鈴木京子	坂田よう子	高橋英俊	柴山賢一	大坂聖子	浅輪いつ子	山口陽一	柴崎茂		高橋正克	渡辺順子	竹内恵美子
32	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決
33	神奈川県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	可決
34・35	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	可決
36	工事委託に関する協定の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	可決
37	物品購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	可決
38	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
39	平成19年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	可決
40	大磯町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
意見書案第1号	日豪EPAにおける重要品目及びWTO農業交渉に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
決議案第1号	葬儀場建設の白紙撤回を求める決議	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

町政のここが聞きたい

一般質問

一般質問は、5月31日・6月1日に
12人の議員から37問ありました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

【文責は本人】

ごみ処理は環境を考えて進めるべき

当然話し合っている

渡辺 順子

問 二宮町が本年9月にごみの焼却炉の運転を停止することになり、本町に3年間ごみを焼却してほしいと依頼があった。しかし二宮町では大磯町で焼却していない革製品、ビニール、カーテンなどを可燃物として収集している。このようなものを焼却すれば大気汚染が起こり、近隣の健康被害も考えられる。また炉の傷みも進むのではないかと

町長 受け入れる場合は町

の状況に合わせていただくのが当然である。

問 大磯町以外のごみは燃さない、焼却場に関連して起きた病気については町が責任を負う、など地元との約束がある。二宮町にきちんと話しているのか。

町長 地元の了解が得られなければ受け入れられないが、緊急的な受け入れもやむを得ないと考えている。
問 その話し合いの経過についてきちんと議会に報告

されなければ賛成することはできない。

大磯町は最終処分場がないので広域で処理できるのがあるがたい。しかし世界的に環境問題が課題である。ごみ処理については環境に負荷がかからない方向で進めるべきだが広域の中でそのような意見は言えるか。
町長 当然環境問題については話し合っている。



環境美化センター

今年度の重要課題と対策は

山口 陽一

ごみ処理の広域化である



ペットボトルの選別（環境美化センター）

問 今年度の重要課題と対策は。

答 ごみ処理の広域化である。

問 一市二町の広域化から二宮町が脱退して最終的に一市一町となった場合に、二宮町が受け持つことになつてきた最終処分場が大磯町に来る可能性はあるか。

環境経済部長 焼却場と最終処分場は平塚市が受け持ち、大磯町はし尿処理場を受け持つことになつている。

問 最終処分場は大磯町が受け持つことは絶対にならないのか。

環境経済部長 今検討しているなかではないということです。

教育長の役割と心構えは

問 教育長は長く教育の現場にいられたが、教育長の役割は何か。

教育長 1年を思うなら花を育てよ、10年を思うなら木を育てよ、100年を思うなら人を育てよ、という気持ちで仕事をしてきた。

教育長になつた以上、教育長としての職務規程を遵守するとともに、教育現場の課題に適切に対応していきたい。



ごみ処理広域の方針は何に基づくか

6月中にはデータを示したい

柴崎 茂

問 ごみ処理広域化について

では、前町長も平塚との広域をやるといふ方向を示すのみで、どのような理由かは一切明確にされていない。どんなデータに基づいて何を信頼しての方針なのか。

町長 6月中には役割分担やデータを示したい。

問 現在の美化センターの施設建設にいくらかかっているか。

町長 ごみ処理施設で約34億円、し尿処理施設で約

10億円になる。

問 20年間で40から50億円投入するとなるとどこと組んでというよりどういう処理をするかが一番重要なのではないか。

町長 ゆくゆく施設は改修しなければならぬ。広域的に処理しないと太刀打ちできない。

問 京都議定書の日本の温暖化ガス排出削減が6%というのは、まさに国民的課題だ。安倍総理も2050年ま

で現在から半減させると言っている。燃やすだけの選択肢しかない平塚との広域は一度決めてしまったら、今後20年間は変えることが出来ない。産業廃棄物ならいざ知らず、自治体ごみの一般廃棄物が燃やすだけの選択肢でいいのか。

町長 できるだけ環境をよくするという形の中で広域をやっている。

ボランティア活動へポイント導入は

先進地の実績等を見極めたい

清水 弘子

問 平成19年5月厚生労働省は介護保険制度を活用した高齢者のボランティア活動の支援策の導入を決めた。地域でボランティア活動に取り組み65才以上の高齢者の活動実績をポイントとして評価し、このポイント

を介護保険料や介護サービス利用料に当てる制度。このポイント制度を導入するか否かは介護保険を運営する各市町村の判断に委ねられている。

大磯町には多くの福祉ボランティアグループが活動、

この制度を使えば元気な高齢者が地域に貢献できる。ポイント制度の導入は必要と考えるが。

町長 介護支援ボランティア制度について、市町村の裁量により介護保険の地域支援事業として行うことが可能となる通知が5月に出た。

余裕のある元気な高齢者に生きがいを持って要介護の高齢者を支援してもらうことは介護予防の効果、地域の活性化、住民間のつながり、介護保険財政効果等、さまざまな面で地域社会全体に効果がある制度と考える。

町として、情報収集の段階にあり、その効果や影響について検討し、先進的自治体の実績等を見極め、導入の有無を考えたい。

その他の質問 神奈中ストア閉店は。葬儀場建設の白紙撤回はなど。



世代交流センター

神奈中ストア閉店について

竹内恵美子

難しいがお願いしてある



閉店した神奈中ストア

問 神奈中へ町からもお願いしているのか。

町長 大変難しいが神奈中へお願いしてある。

問 町と商工会で対策をお願いしたいが。

環境経済部長 協議している。

問 町長に神奈中との橋渡し役をして欲しいが。

町長 機会あることにお願いでいい。

問 子育てから学校教育の窓口の一本化は。

企画担当理事 12月議会を目前に進めていく。

問 虫窪、黒岩、西久保地区のバスの確保は。

町長 プロジェクトを作り6月中に検討会を開催する。

問 不動川の整備は。

町長 残り300m延伸していく。

問 県道の拡幅と歩道(小田原厚木道路入り口付近)の整備は。

町長 早期整備を県に要望していく。

問 都市型農業の育成は。

町長 県と農業サポーター事業の推進をしていく。

問 平塚市では青色回転灯の巡回をしているが、大磯町では。

副町長 町でも7月から月1回くらいやる。

問 石神台の公民館に青色回転灯がつくようですが。

副町長 石神台の地区独自でやるもの。

中学生へ「注文委託弁当方式」は 生徒・保護者・先生で話し合いを

奥津 勝子



国府中の昼食時間

問 中学生の保護者の一部から、注文委託弁当を希望する声がある。「食育推進基本計画」の促進についても「学校、保育所等における食育の推進」とあるが、中学校での具体的な食育の推進として、柔軟な仕組みを採用し、健全な育成を図るべきと思うが。

町民福祉部長 子育て介護が中心で、経済観光課、教育委員会が食育検討協議会を立ち上げた。8項目にわたる食育推進の取り組みのなかで、すでに中学校はミルク給食を実施、20年度には町の食育計画が策定可。
問 朝食欠食児の生活習慣アンケートからの成果は。

教育次長 大磯中は5%に国府中は16%から5%にと取り組みにより減少した。
教育長 98.7%自宅からの弁当持参、コンビニ弁当1.3%。すぐ注文委託弁当ではなく、生徒、保護者、先生で充分話し合いを深め進めて行く。

聴講生制度の推進は
問 中学二校のいじめの実態の掌握と取り組みは。
教育長 校長、園長で構成する経営者会議で掌握。早期発見、対応に各所で努力。
問 聴講生受け入れのメリット、デメリットは。
教育長 受講生は、新しい生きがい、学校は地域に公開、不適格な受講生へ懸念。

問 財政的な問題がクリアすれば、教育委員会としては小学校の低学年に少人数学級を導入していきたいという気持ちがあるか。
教育長 職員配置が県教育委員会からなされた場合には、当然導入していきたい。
問 埼玉県志木市では専科の先生をクラス担任に充て、専科の先生を市費負担臨時職員として採用している。
町長 できれば少人数学級をやりたい。制約はあるが、知恵と工夫で何とかしたい。できればと考える。
問 教育委員会とどんな形で協議をしていくのか。
町長 6月8日にさまざまな課題について、話し合いをさせていただく。
問 大磯小も国府小も昨年今年と加配があるかどうかというせめぎ合いである。
町長 財源は作り出して行かなければ充てていけない、待っているだけでは子どもはすぐに卒業してしまう。スピード感を持ってやっていただきたいが。
町長 重要性認識している。積極的にやっていきたい。
その他の質問 保育園民営化。ごみ処理広域化など。

小学校低学年少人数学級導入は 積極的にやっていきたい

大坂 聖子

問 財政的な問題がクリアすれば、教育委員会としては小学校の低学年に少人数学級を導入していきたいという気持ちがあるか。
教育長 職員配置が県教育委員会からなされた場合には、当然導入していきたい。
問 埼玉県志木市では専科の先生をクラス担任に充て、専科の先生を市費負担臨時職員として採用している。
町長 できれば少人数学級をやりたい。制約はあるが、知恵と工夫で何とかしたい。できればと考える。
問 教育委員会とどんな形で協議をしていくのか。
町長 6月8日にさまざまな課題について、話し合いをさせていただく。
問 大磯小も国府小も昨年今年と加配があるかどうかというせめぎ合いである。
町長 財源は作り出して行かなければ充てていけない、待っているだけでは子どもはすぐに卒業してしまう。スピード感を持ってやっていただきたいが。
町長 重要性認識している。積極的にやっていきたい。
その他の質問 保育園民営化。ごみ処理広域化など。

教育施設の安全確保について

国中耐震化は平成21年度実施

浅輪いつ子

問 第四次総合計画で平成19年度に予定されていた

①国府中学校校舎耐震改修

事業

②国府中学校グラウンド改修事業

③国府幼稚園施設整備事業はなぜ実施されなかった

のか。教育施設の安全確保は最優先事業と考えるが。

町長 平成19年度に月京幼稚園整備事業が追加され、執行体制を勘案し教育委員会と協議した上で、緊急度に応じた優先順位をつけ、

修正した。

①国府中学校耐震改修事業は平成20年度設計、改修

工事は21年度実施。

②国府中学校グラウンド改修事業は平成21年度設計、22年度以降工事を行う。

③国府幼稚園施設整備事業は平成21年度設計、22年度以降改修工事を予定。

問 国府中学校は国府地域の指定避難場所及び広域避難場所にもなっている。耐震性についてI s値0.6に対して町は1.25の係数を掛け0.75と決定している。いっどこで地震が起きても不思議でない中、延ばして良いのか。

町長 安全性は守っていない部分だが、今回は順位を変えた。

問 文部科学省からも計画的に進めるようにとある。今後この通り実施されると理解して良いのか。

町長 そのように予定している。



国府中B棟

最重要幹線道路の実現は

議会と連携を図り、良い施策を

土橋 秀雄

問 (仮称)湘南新道、(仮称)小磯南北線、(仮称)国府新宿東西線、最重要幹線道路の実現は。

町長 この3路線は「大磯町第三次総合計画」や「大磯町道路計画策定報告書」

に位置づけをしている。今は議会の含めた関係者との連携を図り、より良い施策を講じたい。

問 第三次・第四次総合計画に位置づけられて何年後に着工し完成か。

副町長 具体的には何年後と言う事まで精査出来ておりません。政策会議・部長会議を行い具体的に進めた。

問 国府新宿東西線は第三

次・第四次総合計画に位置づけられておりますが。

町長 事業が進まないのが現実問題。解決は結構難題で、かつしてやる気がないわけではない。

副町長 きちつとした形の都市計画を立てると言うのが大前提。関係部局とも話し具体的に話を進めていきたい。

問 上町・変電所の蓮花院に向かう跨線橋、そのあたり一帯の狭あい道路等をしつかり見て現実的に出来る事は。

都市整備部長 今お話にあつた隅切りとか道路拡幅につきましては地権者にご理解をいただいで進めたい。



日吉跨線橋

町民税増税に対する町の対策は

軽減措置の考えはない

鈴木 京子

問 住民税がこの2年で大幅に上がり、連動する介護保険料のために、低所得者などの生活が苦しくなっている。

町長 町独自の負担軽減策は、公平負担の観点から実施されるもの。

介護保険料は激変緩和策があるので、一律の軽減は考えていない。

問 高齢者控除と定率減税の廃止の影響は。

総務部長 高齢者控除廃止は約2千200人で2千300万円、定率減税は2カ年で合計1億8千万円を見込んでいます。

問 激変緩和は抜本的な対策にはならない。二宮町や鎌倉市などでは、独自の軽

減を行っている。

なぜ、ほかの自治体にできて、大磯町にできないのか。

町長 町民全体の中でそういうものを考えていかなければいけないということを考えている。

特定分野では考えていない。

斎場建設について

問 問題のある場所での斎場建設は、町長の考えが計画を変える可能性があるのか、説得に当たっていたか。

町長 規制はないが、皆様の意向を受けてお願いするのが最大限の努力と思う。



住民税のしおり

政策・部長会議は改善されたか 従来の連絡調整会議を改めた

山田 喜一

問 政策会議・部長会議はどのように変わったか。

町長 政策会議は私が長になり部長会議で対応しきれない困難な課題や、重要施策について協議し開催は適宜行なうことにした。部長会議は副町長が長になり政策決定機関として、定例会議月1回を2回に増やし、計画決定や課題調整及び進捗管理等を行ない、従来の連絡調整の会議を改めた。

問 副町長の役割と権限はどのように変わったか。

町長 トップマネイジメント強化のための法改正により「副町長は町長の職務代行を行なうことができる」となったので、町長事務の一部委任を明確にした。長の命を受けて政策及び企画等を担当する重要な任を負うことになる。

問 直面する緊急課題の一つNCR跡地（2万3千坪）の対応はどのようになっているか。税金やまち



部長会議

づくりの点からも重要であるが。

副町長 町長の命を受け優良企業誘致のために県とも相談し努力している。

問 大磯町の調和の取れたまちづくりは優良企業の誘致は不可欠である。ジョン

ソンとNCRで4億2千万円の町税があった。雇用含め町活性化に不可欠。町挙げて対応すべきでは。

副町長 まちの重要な課題であると受け止めている。優良企業誘致のため対応策を練り努力していきたい。

海と文化、大磯らしさのまちづくりを

整備促進に努めていく

坂田よう子



大磯港

問 町長は、漁業の活性化と地域振興策として、町民に親しまれる「開かれた港」をコンセプトに「大磯港の再整備」を推進すると公約している。

「大磯港活性化整備計画」の実現性はいかに。

更には、「大磯港の再整備」実現に向けた体制強化を確認する。

町長 県は、「大磯港活性化整備計画」の最終的とりまとめをしている。

今後は、県とより一層に連帯を図り、整備促進に

努めていく。充実した体制の整備は、機構改革の中で行っていく。

問 県は、既に「邸園文化圏再生構想」大磯近代歴史文化公園ゾーンの形成の方針を決定している。

町はこれを受け、「歴史的建造物の保存・活用」をいかに推進するか。

今後、登録文化財制度の拡充や「景観条例」の制定におおなる運動をし、「大磯らしさのまちづくり」を形成しえるか。

更に、「大磯フィルムコミッション」の設立や「まちづくり交付金」の活用など、自然・歴史・文化の調和がとれた「大磯ブランド」をつくりだす「まちづくり」についての方針を伺う。

町長 県と連携し、事業を推進していく。

その他の質問 子育て支援、教育の充実「子どもを巡る政策」の推進について。

あなたの要望はいつなりました

採択となった陳情

◆日豪EPAに関する陳情

陳情者は、湘南農業協同組合代表理事組合長 安藤昌明氏。

日豪EPAの交渉については、米、麦、牛肉、乳製品、砂糖などの重要品目は除外又は再協議の対象とすること、WTO農業交渉における我が国の主張に基づいた対応を図ることの実現に向け、政府への意見書の提出をお願いしたいというもの

意見として日本の「農」、そして私たちの「食」を守る国際貿易ルールが必要である、食料自給率を上げる抜本的な対策を考えなければならぬ時代である、などがあった。

趣旨採択となった陳情

◆神奈川県最低賃金改定等についての陳情

陳情者は、日本労働組合総連合会神奈川県連合会西湘地域連合議長 今原立郎氏。

神奈川県最低賃金、産業別最低賃金の改定をはかること、改定にあたってはその趣旨及び内容の周知徹底をはかること、最低賃金論議については適切な対応を早期に示すことへの国への意見書の提出をお願いしたいというもの。

意見として、
・陳情趣旨の内容は、かなりの部分がおこなわれている
・日本経済はまだ不安定な部分があるのではないかなどがあった。

机上配布となった陳情

◆山田喜一議員に懲罰を求める陳情書

懲罰は、原則本会議、委員会の席において規律を乱した場合に適用されるなどの規定があるため、机上配布となった。

「日豪EPAにおける重要品目及びWTO農業交渉に関する意見書」は可決

日豪EPAにおける重要品目及びWTO農業交渉に関する意見書

日豪EPA交渉については、本年4月から両国政府間で交渉が開始された。しかし、豪州は世界有数の農産国であり、同国からの農畜産物の輸入は、牛肉、乳製品、米、麦などの重要品目を中心に大幅な超過の状況がある。

この交渉で豪州側から、これらの重要品目の関税撤廃を強く求められることは必至であり、関税撤廃となれば我が国の農業は壊滅的な影響を受け、食料自給率はさらに低下し、国民食料の安全保障も重大な事態に直面することとなる。大磯町の農業においても甚大な影響を蒙り、経営の継続が危ぶまれることは明白である。

一方、我が国はWTO農業交渉で、重要品目の関税削減の例外扱いや柔軟な対応を求めG10諸国等と連携し、農業の持つ多面的機能の発揮と多様な農業の共存の重要性を主張している。

よって政府は、日豪EPA交渉において、重要品目の除外・再協議の取扱いが確保できなければ交渉を中断するとともに、WTO農業交渉での我が国の提案と主張を貫くことを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年6月4日

内閣総理大臣	安倍	三郎	殿
外務大臣	麻生	太郎	殿
財務大臣	野田	高志	殿
農林水産大臣	赤松	孝	殿
経済産業大臣	甘利	明	殿

神奈川県中郡大磯町議会議長 熊木 博

委員会報告

福祉教

町住宅新築資金等貸付は

4月24日、5月21日福祉文教常任委員会を開催し調査した。

本制度は同和対策の一環として創設され平成14年度廃止された。

貸付金滞納額は平成17年度末に11件4千12万円、無担保4件、うち土地建物所有権移転1件。

委員からは無担保貸付の責任などが問われ、町長は回収努力を言明した。

建設

現況町道と今後の課題

4月27日に建設経済常任委員会を開催した。

現在、町道として認めている路線数は、544本あり、その距離は約127kmになる。

一定の要件を満たし、本来町が管理すべき開発道路も19カ所未認定があった。

町は怠慢を認め、今後優先順位を考慮し、認定してゆく。

今後のごみ処理広域化

2月1日以降に開催された第3・4回の検討部会の経過説明があった。

また、4月17日に二宮町より、可燃ごみの焼却処理について、平成19年10月から22年10月まで1日につき収集車1〜2台分程度を焼却してほしいと依頼があったと報告があった。

旧吉田邸

特別委員会は6月議会をもって終了

県が旧吉田邸を県立公園として整備することを決定した後の平成18年9月、議会は「旧吉田邸保存活用特別委員会」を設置して、7回にわたり町の観光の活性化に向けた利用について検討した。

最終回となった5月29日は、町が業者に委託した「利活用検討業務報告書」が提示され、担当職員から説明があった。

報告書の主な内容は ①建物の記念館的活用方法 ②旧吉田邸を拠点とした地域活性化の方策 ③運営事業計画などであり、視察した先進地（葉山・山口蓬春記念館や熱海・起雲閣）を参考にした具体案が示されていた。

最終的には、8月に町の活用検討会議から町長に「利活用の提言」があるとの説明であった。特別委員会としては町に ①庭園の松枯れ対策 ②運営業務の費用対効果 ③子どもなどに吉田邸を紹介する方法など3点について検討することを要請し、委員会を閉会した。



吉田 茂
河口邦夫画

議会会議録が 閲覧・検索できます！

平成18年以降の定例会・臨時会の議会会議録が、町のホームページから閲覧・検索ができるようになりました。ご活用ください。



葬儀場建設の白紙撤回を求める決議を賛成多数で可決

決議文の趣旨

本議会は、平塚市に本社を置く株式会社サン・ライフが、役場隣接地に計画している葬儀場建設を白紙撤回し、住民の意思を尊重するよう求める。

理由

1 建設計画の場所は、歴史的にも由緒がある日本三大俳諧道場「鳴立庵」に隣接し、かけがえのない大磯町の観光名所であり、景観上においても不適切であること。

2 出入り口が通学路でもある交差点の中にあり、歩道も狭く、歩行者、児童生徒の安全な通行に支障が生じ、交通上の問題があること。

3 十分な駐車場を備えない建設計画であり、近隣への違法駐車や町役場の利用者と交錯し、公共機関としての利用が妨げられる懸念が大きいこと。

輝いてます

大磯人

声楽家 田中 詩乃さん 東町

今回ご紹介するのは、声楽家の田中詩乃さんです。「私が声楽家となったきっかけは、大磯小学校の合唱団です」お訪ねした私たちに、にこやかに話し始めてくださいました。

澄んだお声としっかりとした口調が印象的です。詩乃さんは大磯生まれの大磯育ち。

小学校入学後、合唱団で同年齢の子どもたちが歌う姿を見て、どうしても自分も歌ってみたい、と強い希望を持ったそうです。念願かなって入団できてからは、うれしくて、うれしくて、いつも歌を歌っていたとか。その後高校に進学する時歌の道を選び、東京芸術大学へと進まれました。

詩乃さんが自身の存在を意識したのは、自分のランドセルが当時では珍しいオレンジ色だったことにより。ランドセルといえば女の子は赤、男の子は黒と

決まっていた時代です。ある日、自分だけが周りの人と違うものを持っていることに気づいてから、小さいながら自分というものを見つめるようになったそうです。

それから現在に至ってもなお常に自分の在りようを考えています。

「大学を出てからしばらく、思い上がっていた時期もありました。でもある時自分の歌を聞いてくださる方がいらっしやるからこそ自分が在る、と気がつきました。それからというもの、さまざまな方との出会いの中で多くのことをまなび、その度に一枚一枚衣を脱ぎ捨てるように新しい自分を発見する喜びを知りました。今、素直に自由な気持ちでいられることの幸せを噛みしめています」と一言ずつ言葉を選びながら、ゆっくりと現在の心境をお話なさる詩乃さん。

歌うこと以前に自然体で声を出すことから始め、やがて全身で歌うことで自身を解放し、自由になれることを体験してほしい。そのためにお手伝いできるなら、

と色々なサークルに参加し、主宰もしています。

「コンサートで歌うことと同じくらい、もしかしたらそれ以上に今の自分にとって大切なひと時です」とも。

人を思いやるやさしさ、自分を磨く心が詩乃さんを声楽家としてますます成長させてくれることでしょう。



1973年 大磯に生まれる
東京芸術大学音楽学部声楽科卒、同大学院修士課程修了 在学中に安宅賞フランス歌曲を中心とする演奏活動 県内外の合唱団のボイストレーナーボイストレーニング教室 VOCE di Poema を主宰

編集後記

私たち委員はこの2年間、読みやすい議会だよりを目標に、議会用語をなるべく使わず平易な文章で紙面をつくるよう努力してきました。記事の順番や配置も試行錯誤の末やっと今の形が整いました。

また「輝いてます大磯人」は、大磯町在住で文

化・芸術の分野でご活躍の方々の貴重なお話を紹介し、好評をいただきました。

議員選挙直前の6月定例会は議長の配慮で「また戻ってくるのを待つ」との思いを込めて「松」の盆栽が飾られ、気が引き締まる思いでした。これまでのご愛読を感謝いたします。



北野章さんの盆栽

表紙の答 高麗 花水川

議会だより編集委員

- | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|---------|---------|------------|
| 委員 渡辺 順子 | 委員 大坂 聖子 | 委員 山田 喜一 | 委員 高橋 英俊 | 委員 柴崎 茂 | 委員 熊木 博 | 副議長 百瀬 恵美子 |
|----------|----------|----------|----------|---------|---------|------------|